

渡良瀬遊水地の絶滅危惧種をみんなで守ろう

～外来植物の抜き取り作業～

1、目的

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にある。しかし、外来種植物の繁殖により、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。この豊かな生態系を守り、また、守ることの必要性を広く周知するために、渡良瀬遊水地絶滅危惧種保全活動を行う。今回の作業は、「国際生物多様性の日（5/22）」普及啓発事業として、栃木県と共催で実施するものです。

2、活動内容

国のレッドリスト絶滅危惧種ⅠＢ類（近い将来における絶滅の危険性が高い種）に指定されている「アゼオトギリ」や新種の「ワタラセツリフネソウ」が生息している史跡保全ゾーン周辺を保全するために、セイタカアワダチソウなどの外来種植物を抜き取る作業を実施する。

これまでの絶滅危惧種ノジトラノオの生息地周辺に加え、今回の作業個所も、保全の必要があることから、新たに追加となる個所になります。

3、開催内容

- ・期 日：平成28年5月14日(土) ※小雨決行、荒天中止
- ・受 付：13:00～（第1調節池 史跡保全ゾーン内受付テント）
- ・作業時間：13:30～15:00
（希望者には、作業後に植物の観察会を実施します。）
- ・場 所：第1調節池 谷中村史跡保全ゾーン周辺
- ・対象者：植物に興味があり、自然環境の保全に関心のある方
- ・受 付：事前申込不要、当日参加受付
- ・問合せ先：栃木市役所 遊水地課 0282-62-0919

4、その他

- ・保険は主催者にて加入しますので、当日は受付にお越しく下さい。
- ・軍手、ビニール袋は主催者で用意します。
- ・参加者は汚れてもいい服装、タオル、長靴などをご用意ください。
- ・雨天などにより中止の場合、栃木市のホームページに当日の午前9時までに掲載します。

位置図

